

キラリ 熱中時間

商店街コミュニティサポート事業「あいん」



代表 笹井昇子さん

空き店舗に再び明かりを

平成21年、旧中山道沿いで深谷商工会議所の空き店舗対策事業の取り組みの一つとして地場産食材を活用したスローフード店「あいん」が誕生しました。「人が行き交う元気な地域になるよう、一役買いませんか？」を合言葉に料理好きの女性を中心に集まったメンバーは、現在そば打ち名人の男性陣も加わり、32人で活動中です。

あいんで提供されるランチは、栄養バランスの整った、飽きのこない味になっています。また、メンバーの家で採れた朝採れの新鮮な野菜がその日の献立に上がることもあります。こつした細やかな気遣いが行き届いたランチを自当てに来店するリピーターは年々増加中です。

【あいん】0575-34022 深谷町10-24 旧中山道七ツ梅酒造跡向かい
ランチタイムは午前11時30分～午後2時まで(月曜日定休 毎週水曜日はその日)

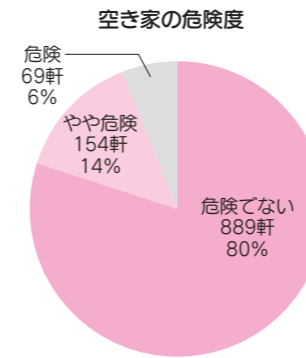


▲「あいん」の皆さん。工夫された献立でお客さんを待っています

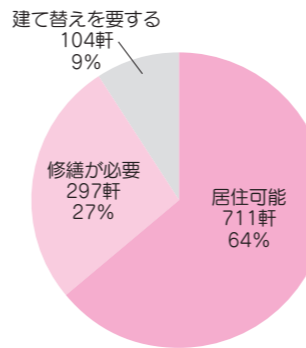
そんな状況に笹井代表は「毎日来る常連さんもありますし、遠方から車でやってくるお客さんもいるんですよ。利益はほとんどないのですが、皆さんが楽しみにして来てくれるので、私たちもボランティア精神とまごころを込めて喜びを感じながら活動できます。」と笑顔で語ります。また、「お客さんとの距離が近いので、一人ひとりの顔が見えてくるんです。今後一人暮らしの高齢者が増加していく中で、私たちの活動が、集いの場になっていくと嬉しいですよね。」と笹井代表は今後の活動について意欲的に話します。

「あいん」はこれからもメンバー自身が楽しみながら、まちの明かりを絶やさずともし続けていきます。

市内全域の空き家の状況



空き家の建物の状況



地区別空き家軒数および空き家の危険度

地区名	地区別世帯数	空き家軒数	危険	やや危険	危険でない
深谷地区	7,630世帯	119軒	11	19	89
藤沢地区	3,890世帯	86軒	3	17	66
幡羅地区	7,478世帯	95軒	4	12	79
明戸地区	1,892世帯	73軒	11	15	47
大寄地区	1,250世帯	27軒	1	2	24
八基地区	1,363世帯	50軒	4	3	43
豊里地区	1,566世帯	67軒	7	20	40
上柴地区	8,157世帯	76軒	2	3	71
南地区	7,197世帯	137軒	4	10	123
岡部地区	7,084世帯	141軒	11	30	100
川本地区	4,569世帯	91軒	9	10	72
花園地区	4,934世帯	150軒	2	13	135
合計	57,010世帯	1,112軒	69	154	889

(地区別世帯数は平成27年1月現在)

空き家は放火や侵入など犯罪の温床になりやすいほか、倒壊による事故などが懸念されます。また、資産の有効活用面からも課題となっています。このため、市では、空き家の実態を把握するため、平成26年9～11月に自治会の協力のもと、「空き家の実態調査」を実施しましたのでその結果をお知らせします。

TOPICS 空き家の実態調査結果

ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる 散歩 24 深谷ベース



深谷ベースに来たよ！ここはビアガーデンとか映画の野外上映とかいろいろなことに使える場所なんだって。ふっかちゃんも「ゆるキャラグランプリ2014」で出陣式をした思い出の場所なんだ。ちょっと見せてもらおうと！



◀この「ふっかやギャラリー」は、展示スペースになるだけでなく、美術教室とかの作業もできるんだ！ちなみに、「こんなイベントもあるの!？」っていうオドロキの催しもあるからホームページをチェックしてね!



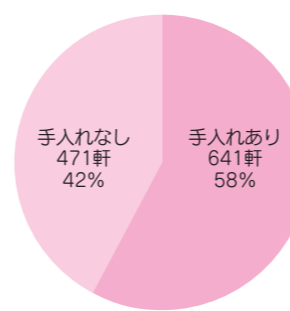
▲ここは「キッチンラボ」！小さなキッチンが付いていて、調理もここでできるよ。ウッドデッキも一緒に借りれば、青空の下で料理を食べられるんだ。活用法は無限大!!みんなも遊びに来てねえ～Y(o0ω0o)Y

ふっかちゃんのつぶやき

3月もふっかちゃんはいろいろな場所に行くよ！ふっかちゃんホームページでチェックして会いに来てねえ～Y(o0ω0o)Y



空き家の敷地の状況 (雑草の管理)



今後の取り組み
今回の調査結果を踏まえ、空き家の適正管理指導を行っていくとともに、利活用の促進に向けた調査・検討を行っていく予定です。

空き家を適正に管理しよう
空き家を危険な状態で放置した結果、強風などで建物の一部が飛散して他人に被害を与えた場合、空き家の所有者などが賠償責任を問われることがあります。空き家は、所有者などが適正に管理することが原則です。

調査対象 市内全域の戸建住宅(県営住宅、市営住宅、民間賃貸物件を除く)
調査方法 自治会長および班長など自治会役員が、空き家と想定される住宅を外観目視で調査



▲シルバー人材センターとの協定の締結式



▲市と12支会長による協定の締結式

協定の締結
市では、今回の調査結果を踏まえ、自治会連合会と「空き家等の見守りについて」、公益社団法人深谷市シルバー人材センターと「空き家等の適正管理について」の協定を2月5日に締結しました。